

# Junior Wind Orchestra Hiroshima 2023



ひろしま  
国際平和文化祭  
HIROSHIMA FESTIVAL

ジュニアウインドオーケストラ広島

## 成果発表コンサート



PROGRAM

### ❖ 楽器紹介とアンサンブル演奏

【木管楽器】フルート・オーボエ・ファゴット・クラリネット・サクソフォン

【金管楽器】ホルン・トランペット・トロンボーン・ユーフォニアム・テューバ

【打楽器】

### ❖ 合唱

混声合唱のための「鷗」〈作曲：木下牧子 作詞：三好達治〉

怪獣のバラード 〈作曲：東海林修 作詞：岡田富美子〉

### ❖ 合奏

アフリカン・シンフォニー 〈作曲：V.マッコイ 編曲：岩井直博〉

カンタベリーコラール 〈作曲：J.ヴァン・デル・ロースト〉

レトロ 〈作曲：天野正道〉

出演「ジュニアウインドオーケストラ広島プロジェクト」受講生及び講師



指揮  
下野竜也

© Naoya Yamaguchi



指揮  
山上孝秋

© SmileStyleStudio

12月28日 木 13:30開演 (12:45開場)

入場無料

演奏中の入場はできません

JMSアステールプラザ 中ホール 〒730-0812 広島市中区加古町4-17

■主催 / ひろしま国際平和文化祭実行委員会 ■協力 / エリザベト音楽大学  
お問い合わせ / ひろしま国際平和文化祭実行委員会 TEL.082-245-0261

# ジュニアウインドオーケストラ広島

## Junior Wind Orchestra Hiroshima

ひろしま国際平和文化祭実行委員会が実施する“ジュニアウインドオーケストラ広島プロジェクト”の受講生による吹奏楽団。同プロジェクトは、広島広域都市圏構成市町在住の中高生を対象とした音楽教育プログラムで、広島市が取り組む「音楽のあふれるまちづくり」の一環として、1年を通じて楽器奏法や音楽理論、合唱等、音楽全般に関する講習の受講に加え、まちなかや福祉施設、ホールでの演奏活動を行い、国内外で活躍する音楽家や指導者を育成することを目的としている。



指揮者

下野 竜也

講師陣

Tatsuya Shimono

広島交響楽団音楽総監督、広島ウインドオーケストラ音楽監督。

2000年東京国際音楽コンクール、2001年プザンソン国際指揮者コンクール優勝。国内主要オーケストラに定期的に招かれる一方、ローマ・サンタ・チェチーリア国立アカデミー管、チェコ・フィル、サンノゼ響、シンフォニア・ヴァルソヴィア、バルセロナ響をはじめとした国際舞台でも活躍するとともに、新国立劇場、二期会をはじめ数多くのオペラ公演でも指揮を務めている。これまでに読売日本交響楽団正指揮者、同首席客演指揮者、京都市交響楽団常任首席客演指揮者を歴任。京都市立芸術大学、東京藝術大学、東京音楽大学にて後進の指導にもあたる。齋藤秀雄メモリアル基金賞、芸術選奨文部科学大臣賞、東燃ゼネラル音楽奨励賞、有馬賞、広島市民賞など受賞多数。太鼓芸能集団「鼓童」ミュージックアドバイザー。NHKFM「吹奏楽のひびき」パーソナリティ。

指揮者

山上 孝秋

Yoshiaki Yamagami

小諸高校音楽科を経て国立音楽大学を卒業後、上野学園大学研究生「指揮専門」を修了。その後東京音楽大学指揮科にて聴講生として研鑽を積む。2018年に石橋メモリアルホール主催上野学園うた工房「こうもり」公演にて副指揮兼合唱指揮を務める。2019年度公益財団法人日本製鉄文化財団若手指揮者育成支援制度対象者に選出され、紀尾井ホール室内管弦楽団をはじめ、東京フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団の下で研鑽を積む。2021年から新国立劇場バレエ団の副指揮者として「くるみ割り人形」「不思議の国のアリス」などの公演に携わっている。ウイスターリア音楽院指揮講師。TJK音楽教室指揮講師。

プロオーケストラ

広島ウインドオーケストラ

Hiroshima Wind Orchestra

1993年広島ウインドオーケストラは広島を中心に活躍するプロ演奏家により吹奏楽の素晴らしさ、そして音楽を通じ平和への願いを発信するため結成された。年2回の定期演奏会を開催する他、学校公演、慰問コンサートといった地域に根差す活動だけでなく、県内外からの依頼コンサート等現在までその活動範囲を広げている。2003年吹奏楽名曲集「バンド・クラシックス・ライブラリー」(ブレンミュージック)の第1弾CD「春の猟犬」が発売、このシリーズは2009年までに全12弾が製作され、現在も販売中のロングセラーとなる。結成10周年記念第20回定期演奏会ではユニセフ難民救済チャリティー募金事業を行う。2011年下野竜也が音楽監督に就任。“邦人作品”・“芸術性を追求した吹奏楽”を核とした意欲的なプログラミングが始まる。下野&広島ウインドオーケストラ初となるCD「兼田敏ウインドオーケストラのための交響曲」はレコード芸術誌の特選版として話題を集め、音楽の友社第49回「レコード・アカデミー賞 特別部門 吹奏楽」を受賞。日本管打・吹奏楽会第23回アカデミー賞(演奏部門)、第35回広島文化賞、2014年度広島市民賞を受賞。2017年初の海外公演となる第71回ザ・ミッドウエストクリニックより招待を受け単独ファイナルコンサートに出演。クリニック史上最高の公演と絶賛を博す。しなやかで美しいサウンドと意欲的なプログラムが各方面から注目を集め、吹奏楽の新たな可能性を感じさせるプロフェッショナル吹奏楽団として、30周年を迎えた本年もさらなる躍進を続けている。

